
消毒薬と作り方



主な消毒薬と効果

消毒薬	ノロウイルス	ネコカリシウイルス	ロタウイルス	インフルエンザウイルス	細菌
両性界面活性剤	—	—	×	△	○
第四級アンモニウム塩	—	×	×	△	○
グルコン酸クロルヘキシジン	—	—	×	△	○
次亜塩素酸ナトリウム	○	○	○	○	○
消毒用エタノール	—	△	△	○	○
ポピドンヨード	—	○	○	○	○
クレゾール石けん液	—	—	×	△	○

○：有効 △：十分な効果が得られないことがある
 ×：無効 —：データなし

参考文献：社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル

次亜塩素酸ナトリウムの商品毎の濃度（参考）

濃度	商品名
1%	ミルトン, ミルクポン, ピュリファン
5～6%	ジアノック, ハイター, ブリーチ
6%	ピューラックス, 次亜塩6%「ヨシダ」, アサヒラック, テキサント
10%	ピューラックス-10, ハイポライト10, アサヒラック, アルポースキレーネ
12%	ジアエース, アサヒラック, バイヤラックス

参考文献: 社会福祉施設等におけるノロウィルス対応標準マニュアル

消毒薬の作り方

対象	濃度	希釈方法
	希釈倍率	
○便や吐物が付着した床等 ○衣類などの漬け置き	1000ppm (0.1%)	①500mlのペットボトル1本の水に10ml (ペットボトルキャップ2杯) ②5Lの水に100ml(漂白剤のキャップ5杯)
	50倍	
○食器などの漬け置き ○トイレの便座やドアノブ、手すり、床等	200ppm (0.02%)	①500mlのペットボトル1本の水に2ml (ペットボトルキャップ半杯) ②5Lの水に20ml(漂白剤のキャップ1杯)
	250倍	

※漂白剤のキャップ：1杯約20～25ml、ペットボトルのキャップ：1杯5ml

参考：厚生労働省「社会福祉施設、介護老人保健施設におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生・まん延防止策のいっそうの徹底について」

おすすめの作り方

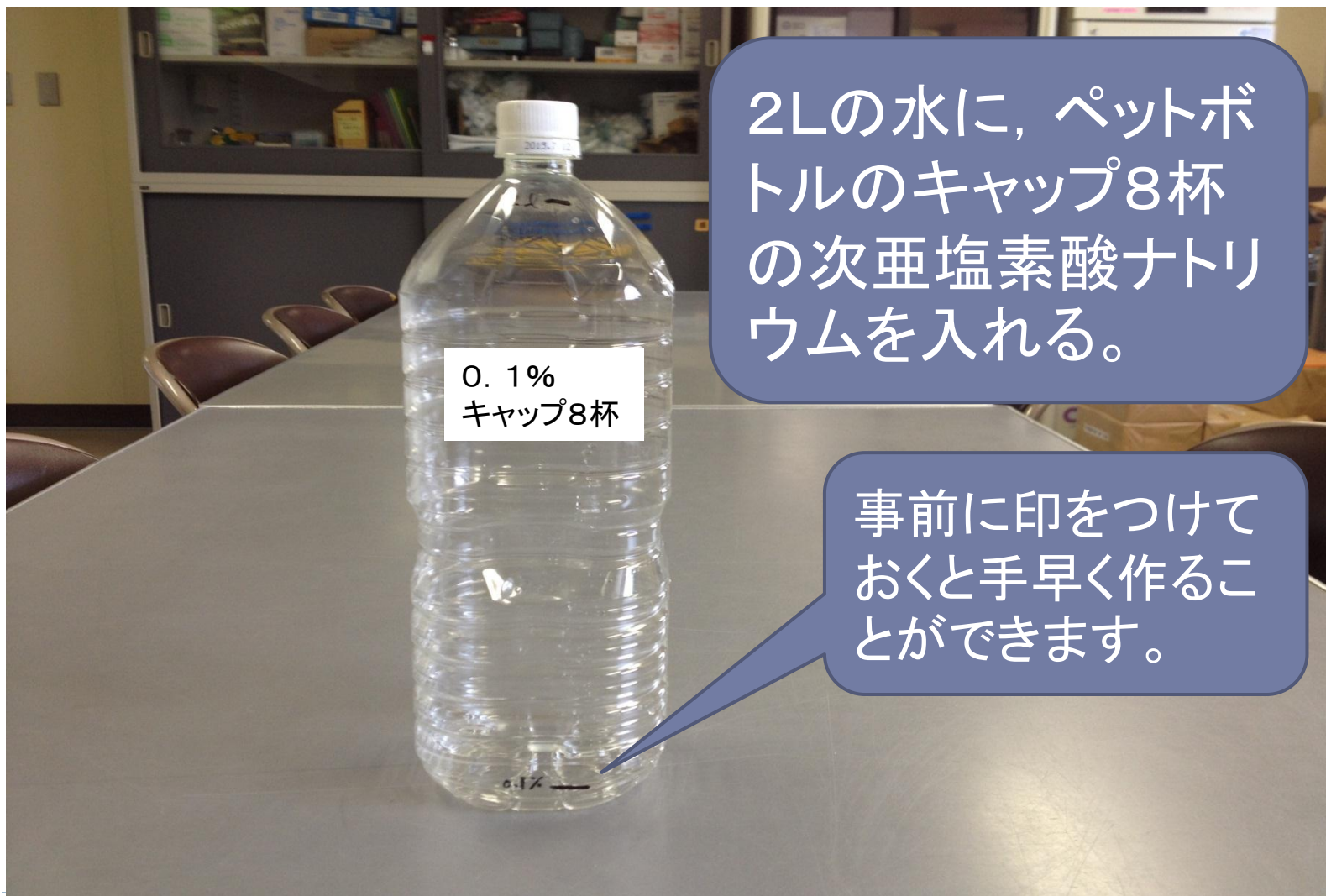
(次亜塩素酸ナトリウム0.02%)



▶ 次亜塩素酸ナトリウム5～6%の消毒薬を使用した場合

おすすめの作り方

(次亜塩素酸ナトリウム0.1%)



▶ 次亜塩素酸ナトリウム5~6%の消毒薬を使用した場合